

## 取扱いの趣旨

含糖酸化鉄注射液は、貧血の原因が鉄欠乏の場合、投与対象となるため、鉄欠乏以外の原因や鉄分補充の必要性がない腎性貧血、慢性透析患者、貧血の傷病名では原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【注射】 《令和6年8月30日》

### 278 腎性貧血等に対する含糖酸化鉄注射液の算定について

#### ○ 取扱い

次の傷病名等に対する含糖酸化鉄注射液（フェジン静注）の算定は、原則として認められない。

- (1) 腎性貧血
- (2) 慢性透析患者
- (3) 貧血

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

含糖酸化鉄注射液（フェジン静注）の添付文書の効能・効果は「鉄欠乏性貧血」であり、鉄欠乏が貧血の原因となっている場合のみ適応となる。

腎性貧血の主因は、内因性エリスロポエチンの産生低下によるものであり、鉄欠乏によるものではない。

また、慢性透析患者、貧血のみの傷病名では、鉄分補充の必要性は認められない。

以上のことから、腎性貧血、慢性透析患者、貧血に対する含糖酸化鉄注射液（フェジン静注）の算定は、原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト  
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、  
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

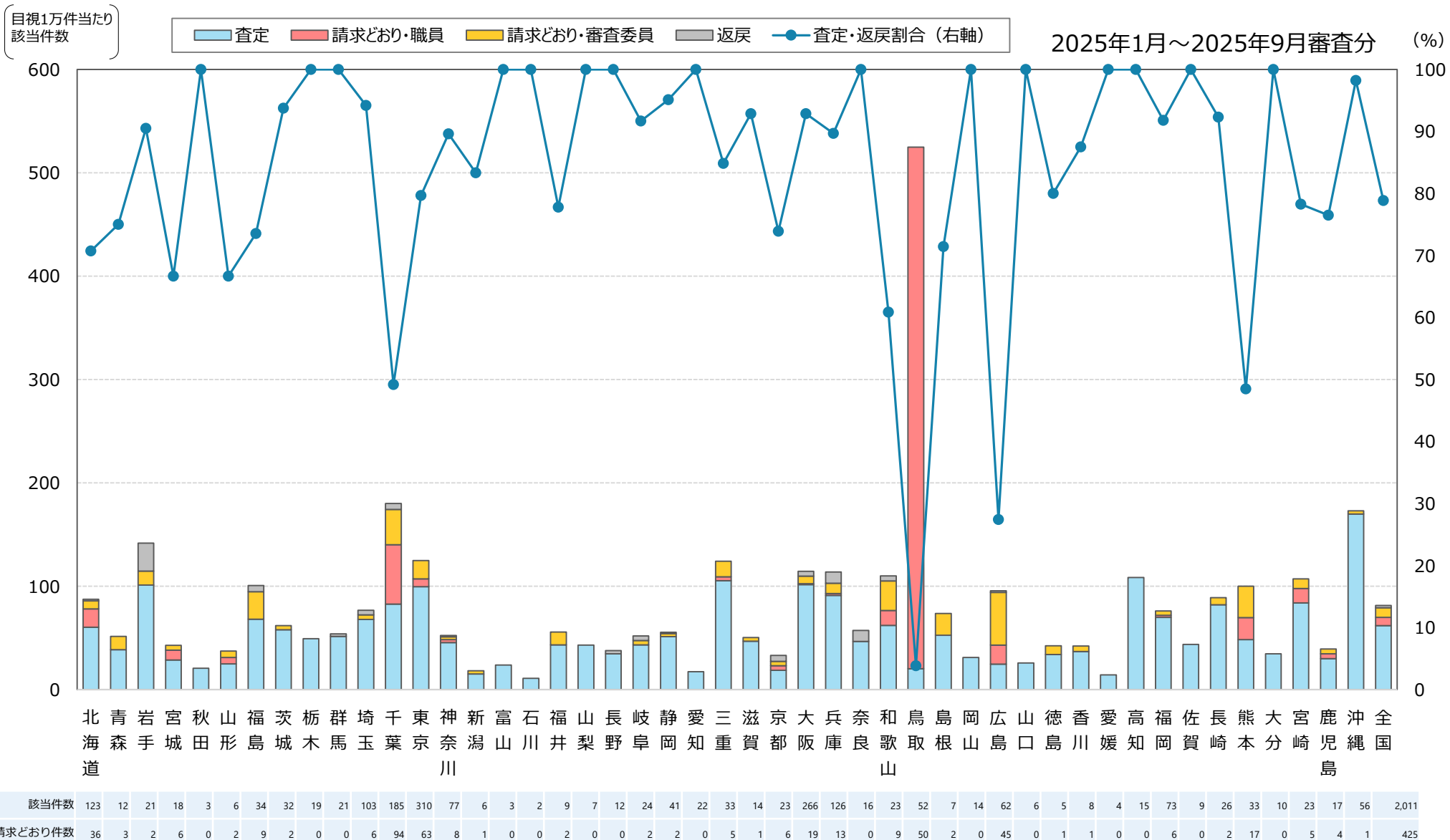
## 審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 78.87%
- 検証対象都道府県 19

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	鳥取、広島、熊本、千葉、和歌山、宮城、山形、北海道、島根、福島、京都、青森、鹿児島、福井、宮崎、東京	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	鳥取、千葉、熊本、広島、北海道、和歌山、宮崎、宮城、東京、山形、鹿児島、京都、三重、兵庫	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	広島、千葉、熊本、和歌山、福島、島根、東京、三重、青森、福井、兵庫、宮崎、徳島、北海道、山形、宮城	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,011件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,586件
検証を必要とする審査	請求どおり	425件



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数